

**仙台市介護保険事業計画  
策定のための実態調査報告書  
(速報版)**

**【要介護者等調査】**

令和2年3月

仙台市

# 調査の実施概要

## 1 調査目的

仙台市介護保険事業計画策定のための実態調査（要介護者等調査）は、第8期仙台市介護保険事業計画（計画期間：令和3年度～5年度）の策定にあたり、保険給付の将来推計の基礎となる介護サービスの利用状況・利用意向を把握するとともに、負担とサービスのあり方や保険外サービスの利用状況など、介護保険事業を含む本市高齢者施策に関する要介護者等の現状を把握することを目的として実施した。

## 2 調査設計

調査対象者	令和元年9月末の時点において、仙台市介護保険被保険者資格を有しており、かつ、要介護認定等を受けている約46,000人から無作為抽出した方	5,000人
調査方法	調査対象者に調査票を郵送し、記入後の調査票を同封の返信用封筒にて返送する郵送方式にて実施	
調査基準日	令和元年11月1日	
調査期間	令和元年10月31日～令和元年11月20日	
調査票の 設問内容	1	調査対象者の属性
	2	在宅で暮らしていくために必要なことについて
	3	介護保険について
	4	介護保険料について
	5	在宅サービスの利用状況と満足度について
	6	在宅サービスの利用限度額について
	7	在宅サービスの今後の利用意向について
	8	在宅サービスを利用していない方について
	9	介護保険以外のサービスの利用状況と今後の利用意向について
	10	安否確認について
	11	今後介護を受けたい場所と施設への入所申し込み状況について
	12	施設入所者の状況について
	13	介護サービスに不満があった場合の対応について
	14	介護サービスの利用者負担について
	15	仙台市への意見・要望について（自由記述）
	16	介護者について

※調査票は、一般の方向け調査票と、回答する設問のみを抜粋した施設入所者用の調査票の2種類で実施。

### 3 調査の回答状況

調査票区分	配布数	有効回収数	有効回収率	集計対象者数(※)
介護保険事業計画策定のための実態調査(在宅者向け)	4,800人	2,601人	54.2%	2,520人
介護保険事業計画策定のための実態調査(施設等入居者向け)	200人	124人	62.0%	102人
合計	5,000人	2,725人	54.5%	2,622人

(※)有効回収数から、「死亡」や「障害等により回答できない」等を除いたもの。

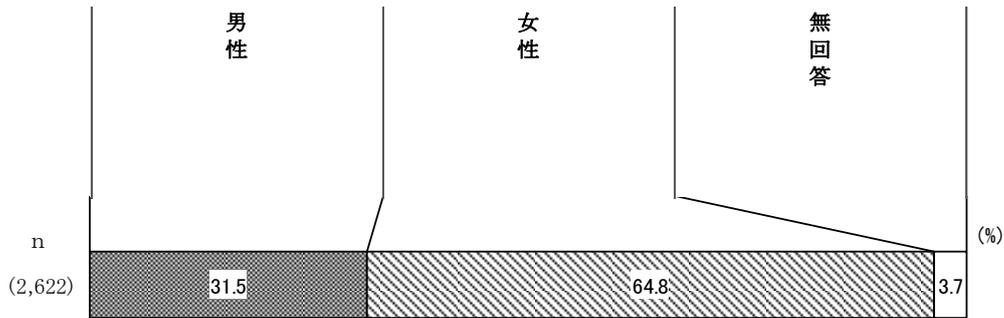
### 4 報告書を読む際の留意点

- ① グラフのnとは回答数を表すものであり、質問によって異なる場合がある。
- ② 回答の構成比は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、単一選択式の質問においては、回答比率を合計しても100%にならないことがある。  
また、回答者が2つ以上の回答をすることができる複数選択式の質問においては、各質問の回答数(n)を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える場合がある。
- ③ 集計表や図では、選択肢の語句を一部簡略化してあらわしている。

# 調査結果の概要

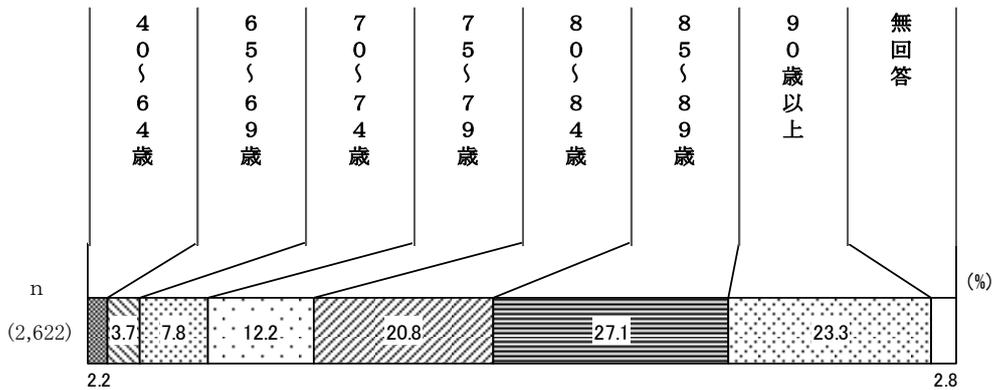
## 1 性別

○本人の性別は、「男性」(31.5%)、「女性」(64.8%)となっています。



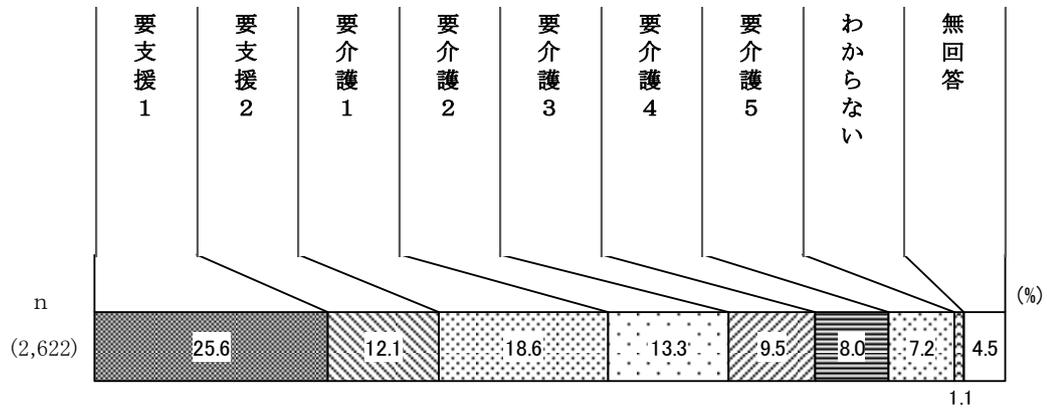
## 2 年齢

○本人の年齢は、「85～89歳」(27.1%)が最も多く、次いで、「90歳以上」(23.3%)、「80～84歳」(20.8%)となっており、後期高齢者(75歳以上)が83.4%を占めています。



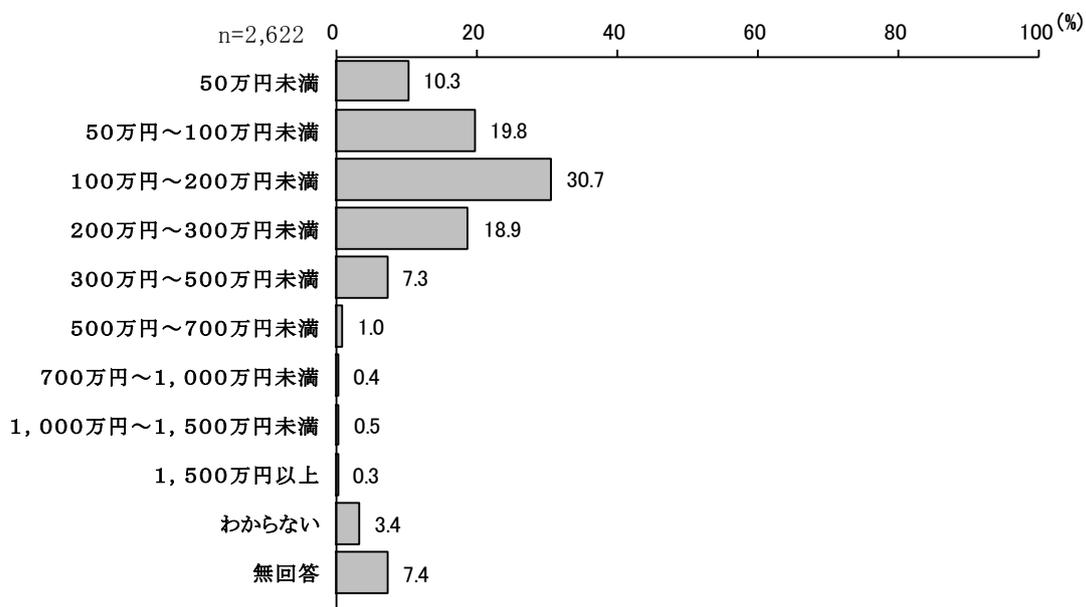
### 3 要介護度

○要介護・要支援度は、「要支援1」(25.6%)が最も多く、次いで、「要介護1」(18.6%)、「要介護2」(13.3%)となっています。



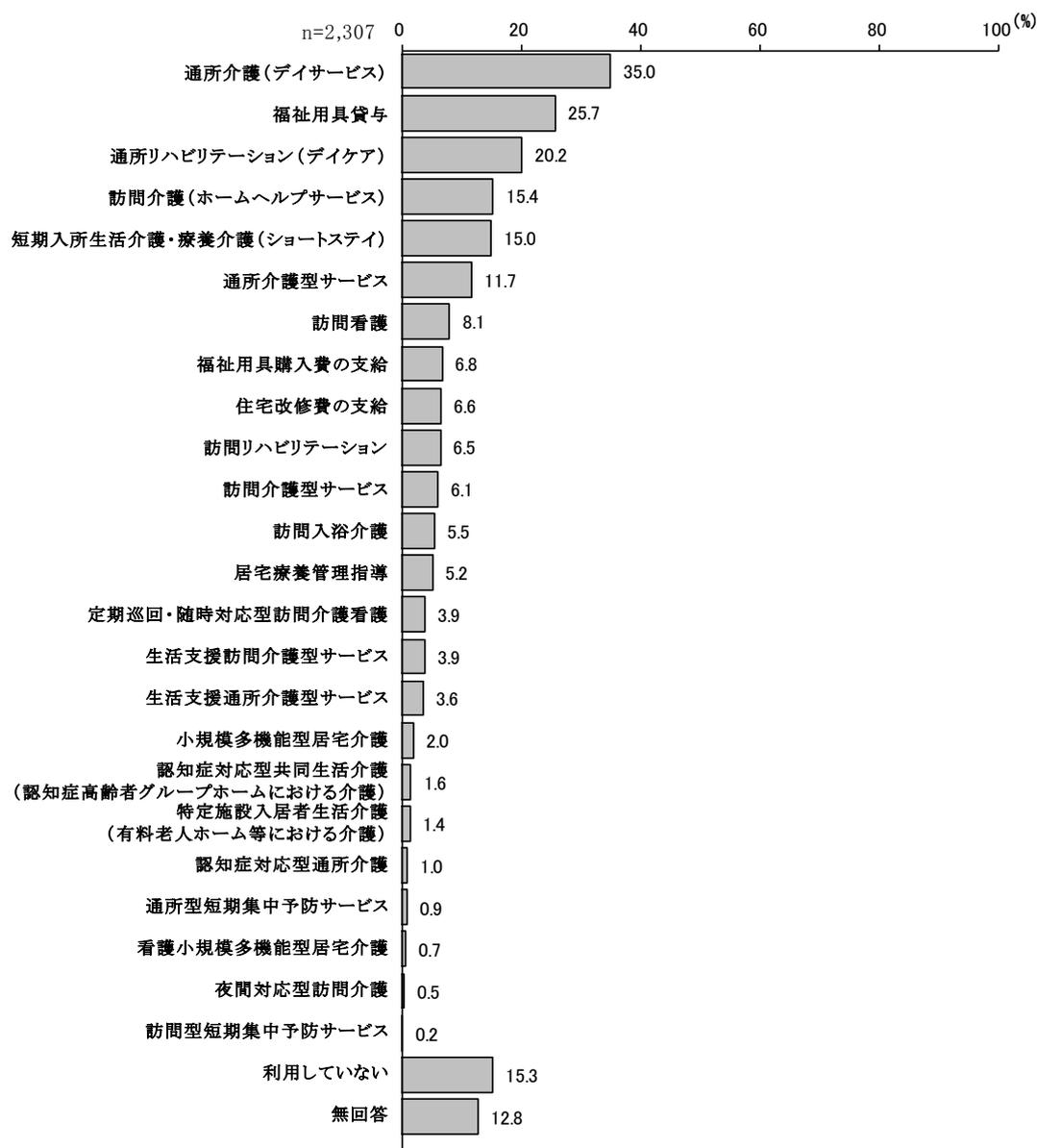
### 4 本人の年間総収入

○本人の年間総収入額は、「100万円～200万円未満」(30.7%)が最も多く、次いで、「50万円～100万円未満」(19.8%)、「200万円～300万円未満」(18.9%)、「50万円未満」(10.3%)となっています。



## 5 現在利用している在宅サービスの種類（複数回答）

○現在利用している在宅サービスの種類は、「通所介護（デイサービス）」（35.0%）が最も多く、次いで、「福祉用具貸与」（25.7%）、「通所リハビリテーション（デイケア）」（20.2%）となっています。一方、「利用していない」は15.3%となっています。



## 《参考》

(%)

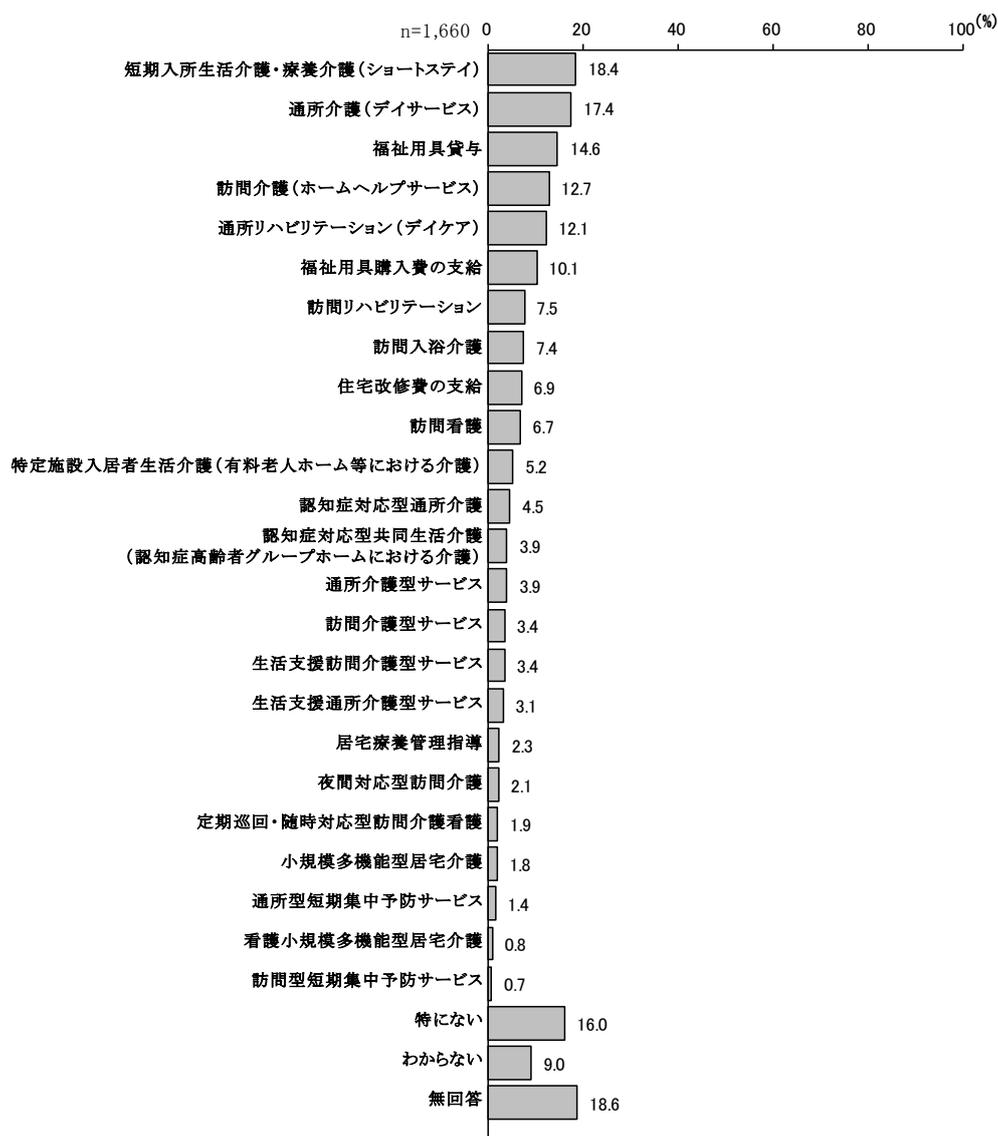
	前々回調査	前回調査	今回調査
	(H25年)	(H28年)	(R1年)
訪問介護（ホームヘルプサービス）	23.8	20.4	15.4
訪問入浴介護	6.3	5.1	5.5
訪問看護	6.6	6.4	8.1
訪問リハビリテーション	4.1	4.1	6.5
居宅療養管理指導	2.1	2.4	5.2
通所介護（デイサービス）	35.3	34.4	35.0
通所リハビリテーション（デイケア）	14.8	17.1	20.2
短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）	11.0	11.5	15.0
特定施設入居者生活介護	3.0	1.5	1.4
夜間対応型訪問介護	0.4	0.2	0.5
認知症対応型通所介護	0.9	1.0	1.0
小規模多機能型居宅介護	0.9	1.2	2.0
認知症対応型共同生活介護	1.9	1.4	1.6
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	-	0.7	3.9
看護小規模多機能型居宅介護	-	0.3	0.7
福祉用具貸与	22.9	22.9	25.7
福祉用具購入費の支給	6.8	6.1	6.8
住宅改修費の支給	5.7	6.4	6.6
訪問介護型サービス	-	-	6.1
生活支援訪問介護型サービス	-	-	3.9
訪問型短期集中予防サービス	-	-	0.2
通所介護型サービス	-	-	11.7
生活支援通所介護型サービス	-	-	3.6
通所型短期集中予防サービス	-	-	0.9
利用していない	13.2	14.0	15.3
無回答	9.5	24.5	12.8

※前回調査（H28年），前々回調査（H25年）は選択肢が一部異なる。

## 6 在宅サービスの今後の利用意向について

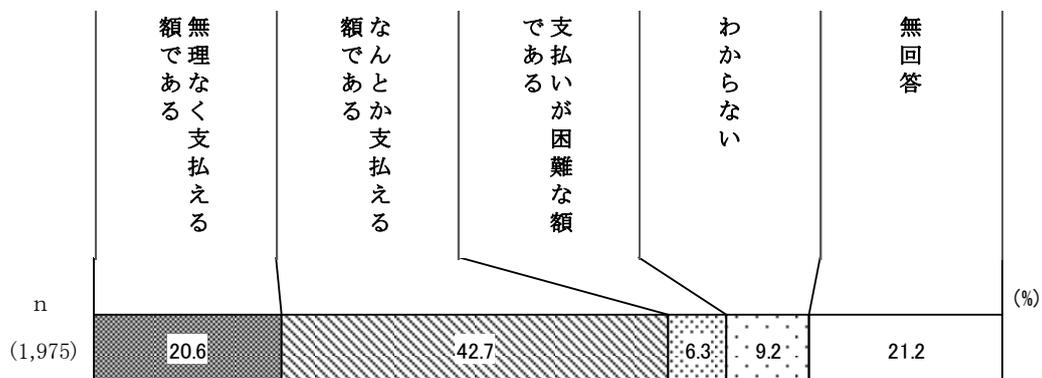
### (今後利用したい、増やしたいと思う在宅サービス/複数回答)

○今後利用したい、あるいは増やしたいと思う在宅サービスは、「短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）」（18.4%）が最も多く、次いで、「通所介護（デイサービス）」（17.4%）、「福祉用具貸与」（14.6%）、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」（12.7%）、「通所リハビリテーション（デイケア）」（12.1%）、「福祉用具購入費の支給」（10.1%）となっています。なお、「特にない」は16.0%となっています。



## 7 利用者負担の負担感

○利用者負担の負担感は、「なんとか支払える額である」(42.7%)と「無理なく支払える額である」(20.6%)を合わせた『支払える』は63.3%となっています。一方、「支払いが困難な額である」は6.3%となっており、前回調査(平成28年度)とほぼ同様の傾向となっています。



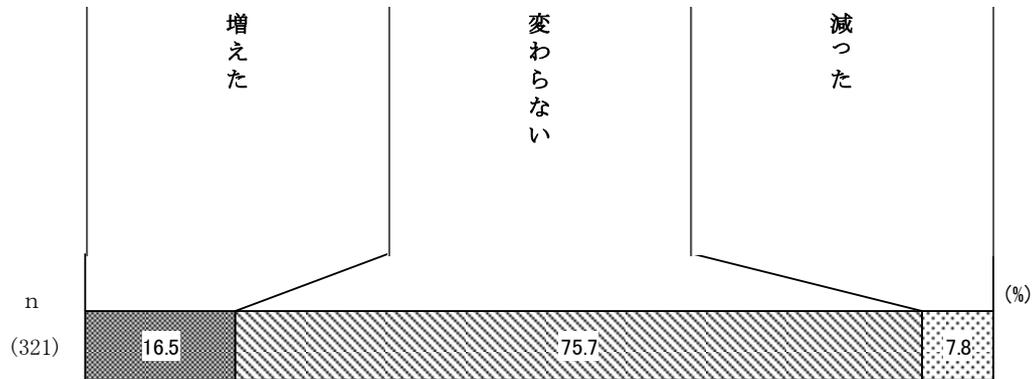
### 《参考》

(%)

	前々回調査	前回調査	今回調査
	(H25年)	(H28年)	(R1年)
無理なく支払える額である	31.4	21.6	20.6
なんとか支払える額である	38.9	44.1	42.7
支払いが困難な額である	6.7	8.4	6.3
わからない	8.8	8.9	9.2
無回答	14.1	17.0	21.2

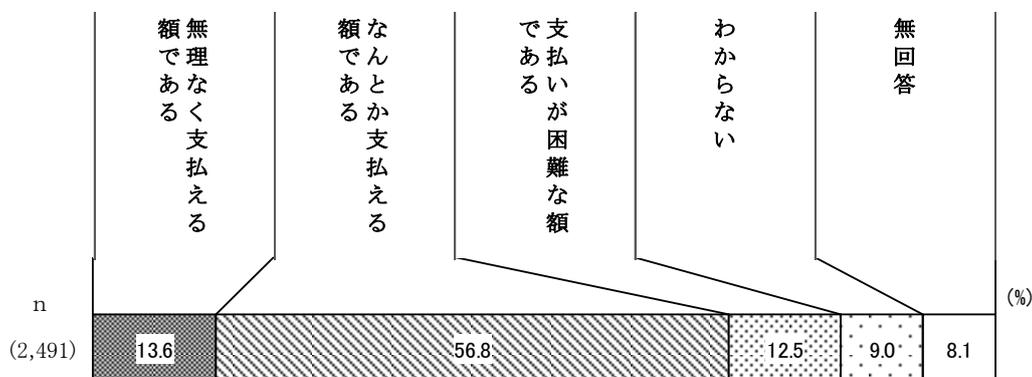
## 8 利用者負担が3割になった以降における利用量の変化

○利用者負担が3割になった以降における利用量の変化は、「変わらない」(75.7%)が最も多く、次いで、「増えた」(16.5%)、「減った」(7.8%)となっています。



## 9 保険料の負担感

○保険料の負担感は、「なんとか支払える額である」(56.8%)が最も多く、「無理なく支払える額である」(13.6%)を合わせると、70.4%が『支払える額』と考えています。

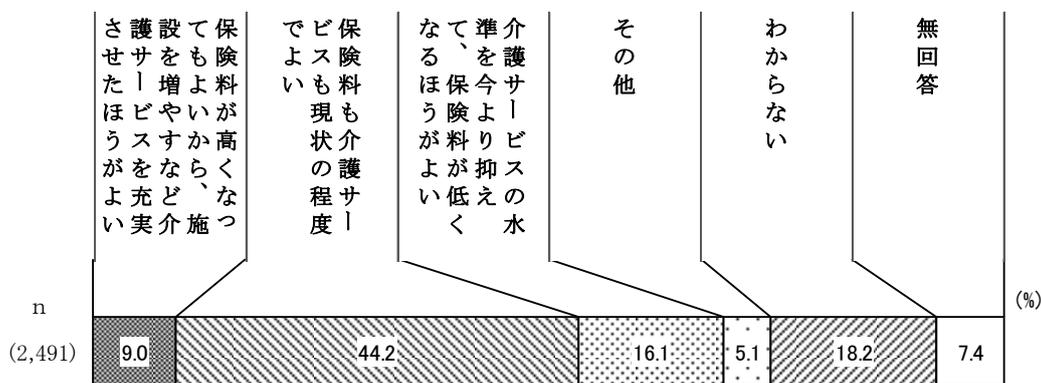


《参考》

	前々回調査	前回調査	今回調査
	(H25年)	(H28年)	(R1年)
無理なく支払える額である	17.0	13.0	13.6
なんとか支払える額である	49.9	54.1	56.8
支払いが困難な額である	10.8	14.7	12.5
わからない	9.4	9.1	9.0
無回答	12.9	9.1	8.1

## 10 保険料と介護サービスのあり方

○保険料と介護サービスのあり方については、「保険料も介護サービスも現状の程度でよい」(44.2%)が最も多く、次いで、「介護サービスの水準を今より抑えて、保険料が低くなるほうがよい」(16.1%)、「保険料が高くなってもよいから、施設を増やすなど介護サービスを充実させたほうがよい」(9.0%)となっています。



### 《参考》

	前々回調査	前回調査	今回調査
	(H25年)	(H28年)	(R1年)
保険料が高くなってもよいから、施設を増やすなど介護サービスを充実させたほうがよい	11.1	10.3	9.0
保険料も介護サービスも現状の程度でよい	35.3	40.3	44.2
介護サービスの水準を今より抑えて、保険料が低くなるほうがよい	14.1	16.3	16.1
その他	4.5	4.8	5.1
わからない	21.8	19.7	18.2
無回答	13.3	8.6	7.4